

生活支援コーディネーターだより

きずな

今回のテーマ

団地でのつながりづくり
～UR総持寺団地での取組～

今回はUR総持寺団地での住民同士のつながりづくりを目的とした取組を紹介します！UR総持寺団地では自治会組織が解散したことで、住民同士の関わりが希薄になるのではと不安を感じる声がありました。そこで団地住民、関係機関で相談し、相談会やカフェなど様々な活動を行ってきました。現在は「UR総持寺団地ささえあいネットワーク」という名称で取組を進めています。継続的な取組としてカフェ、ガーデニングイベントを実施し、新たなつながりが広がっています。

UR総持寺団地ささえあいネットワークとは？

茨木市・高槻市双方の地域包括支援センターや社会福祉協議会といった支援機関やURコミュニティ、地域の大学が連携し、団地住民と一緒に「誰でも気軽に楽しくつながれる見守りあいと安心がある団地」をテーマに活動しています。

UR総持寺団地ささえあいネットワークではこんな取組を行っています！

お菓子とコーヒー
がいただけます誰でも参加
できます！

だんカフェ

毎月第2金曜日に団地集会所で行っているカフェです。100円で気軽に参加できます。カフェでは楽器演奏等のイベントも不定期で行われています。

ガーデニングイベント

団地集会所前の花壇や中庭のお花の植え替え・お手入れを行っています。水やり等の日々のお手入れは住民が中心となり、積極的にお世話されています。



令和7年6月には座談会を実施しました。裏面で詳しく紹介しています。

裏面に続く



座談会では地域住民だけでなく、支援者や大学生も一緒にお茶を飲みながら、団地の生活の困りごと・楽しみ、「こういうのがあったらいいな」、現在行っている取組への感想やご意見などを話し合いました。地域住民が15名、支援者が13名、追手門学院大学の学生6名が参加しました。

パネルも用いて他の参加者の意見も参考にしながら行いました。

だんカフェの回数を増やして欲しい！



昔は団地で夏祭りもやってたよ！



座談会で出た意見

- ・住民同士のつながりが希薄になっている
- ・ゴミ問題（高齢化でゴミ出しが困難・ゴミ捨て場のマナー）
- ・自治会がないため、困り事をどこに相談して良いかわからない
- ・ガーデニングイベントで住民同士協力し合うことで、新たなつながりができた 等

座談会を終えて・・・

住民同士や支援者が顔の見える関係となること、地域への思いを共有することの大切さを感じる座談会となりました。つながりの希薄化を感じている声、だんカフェの開催頻度を増やして欲しいとの声などから住民同士のつながり、交流の場が必要だと感じている方が多いように感じました。また、茨木市、高槻市の市をまたいだ支援者が連携することで今回の座談会は実施することができました。このつながりを今後も大切に、そしてより広げていきたいと感じました。

今後もUR総持寺団地ささえあいネットワークの活動を地域住民の声に寄り添ったものにしていくために、地域住民の声を反映しながら進めていきたいと考えています。



「困り事や耳寄り情報を共有する場所が欲しい」、「話し合いの進め方がわからない」という方、生活支援コーディネーターが話し合いの場を作るお手伝いをしたり、必要な情報を提供します。お気軽にお問合せください。